

2020年6月期決算説明

株式会社 オーネックス

2020年8月28日

Index

- **2020年6月期の業績**
- **売上高・設備投資、減価償却推移**
- **2020年6月業種別シェア及び売上高**
- **今後の展望**
 - **熱処理業界を取り巻く環境**
 - **オーネックスグループの戦略**

2020年6月期連結業績前期対比

(単位:百万円)

	'19/6期	'20/6期	増減	増減率
売上高	6,252	5,317	△935	△15.0%
売上総利益	1,427	1,090	△337	△23.6%
営業利益又は 営業損失(△)	252	19	△233	△92.1%
営業利益率	4.0%	0.4%	△ 3.7%	—
経常利益又は 経常損失(△)	261	25	△236	△90.4%
親会社株主に帰属する当期 純利益又は親会社株主に帰 属する当期純損失(△)	161	13	△148	△91.9%

米中摩擦による景況弱含みが続くなか新型コロナウイルス感染症拡大の影響から

■ 売上高は前期比△935百万円減少

自動車、産業工作機械関連部品及び建機関連部品は減少

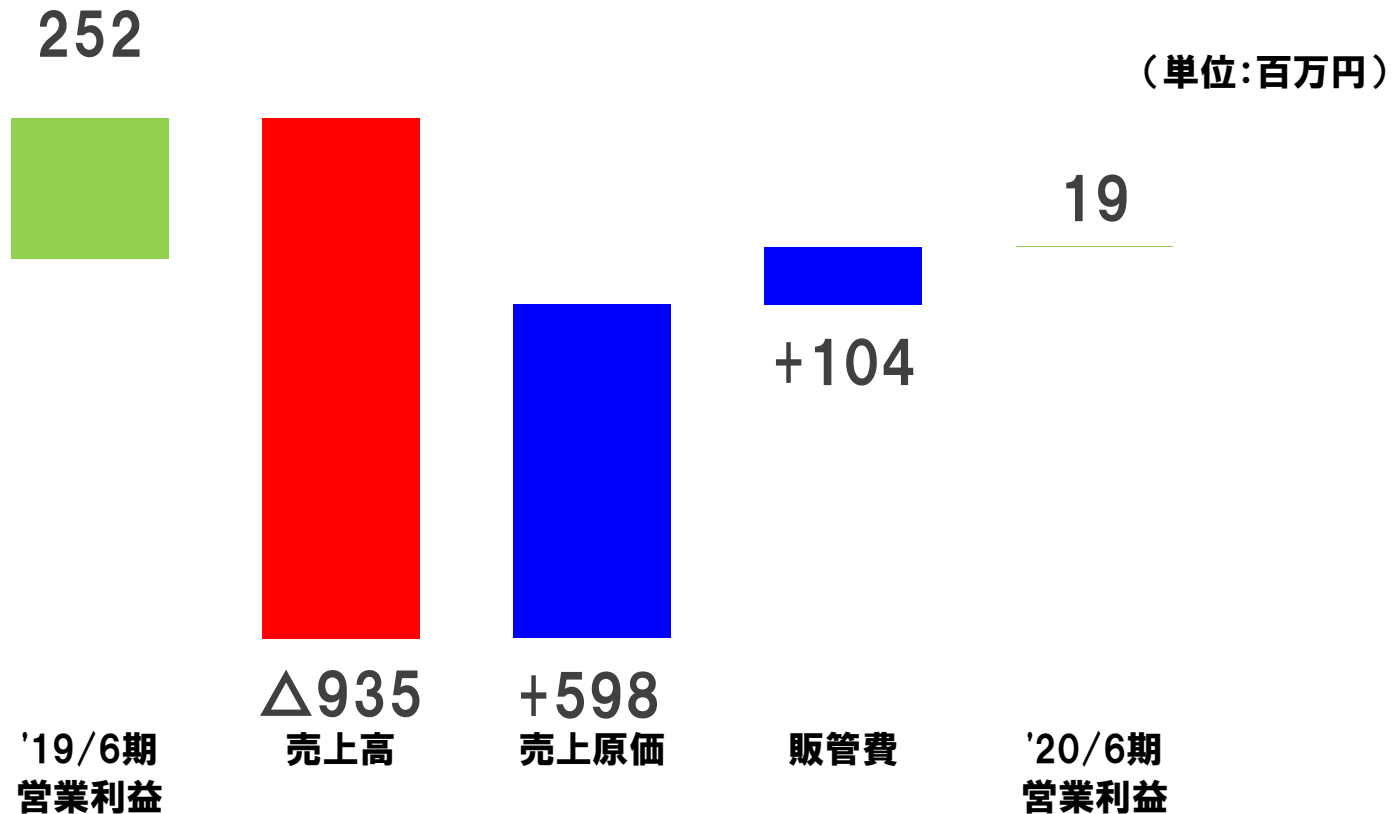
■ 営業利益は前期比△231百万円減少

外注加工費、人件費等を削減するも売上高の落ち込みにより減少
ただし、このような環境において、

■ (株)オーネックステックセンター

売上高前期比14百万円増加し、計画どおり黒字化を達成

2020年6月期(69期)主要増減要因



売上高要因	売上原価要因	販管費要因
金属熱処理事業 △874 運送事業 △97 内部取引 +36	電力 △75 ガス △107 労務費 △152 外注加工費 △145 その他 △120	修繕費 △56 その他 △48

2020年6月期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	'19年 6月末	'20年 6月末	増減		'19年 6月末	'20年 6月末	増減
流動資産	4,254	4,158	△ 95	負債	4,702	4,496	△ 205
固定資産	6,010	5,849	△ 160	純資産	5,564	5,512	△ 52
資産合計	10,267	10,009	△ 258	負債・純資産合計	10,267	10,009	△ 258

(内 訳)

流動資産	4,254	4,158	△ 113	流動負債	1,869	1,717	△ 151
現金及び預金	1,973	2,438	465	支払手形及び買掛金	145	85	△ 59
受取手形及び売掛金	1,347	953	△ 394	電子記録債務	166	138	△ 28
電子記録債権	640	489	△ 150	1年内返済予定の 長期借入金	677	779	61
固定資産	6,010	5,849	△ 160	固定負債	2,833	2,779	△ 54
有形固定資産	5,360	5,252	△ 107	社債	17	2	△ 15
無形固定資産	63	50	△ 12	長期借入金	1,929	1,943	14
投資その他の資産	586	546	△ 40	退職給付に係る負債	729	673	△ 55

2020年6月期セグメント別業績

(単位:百万円)

	2020年6月期			
	売上高	前期比	営業利益 及び営業損失	前期比
金属熱処理加工	4,665	△15.8%	△ 21	—
運 送	651	△8.7%	7	△85.4%

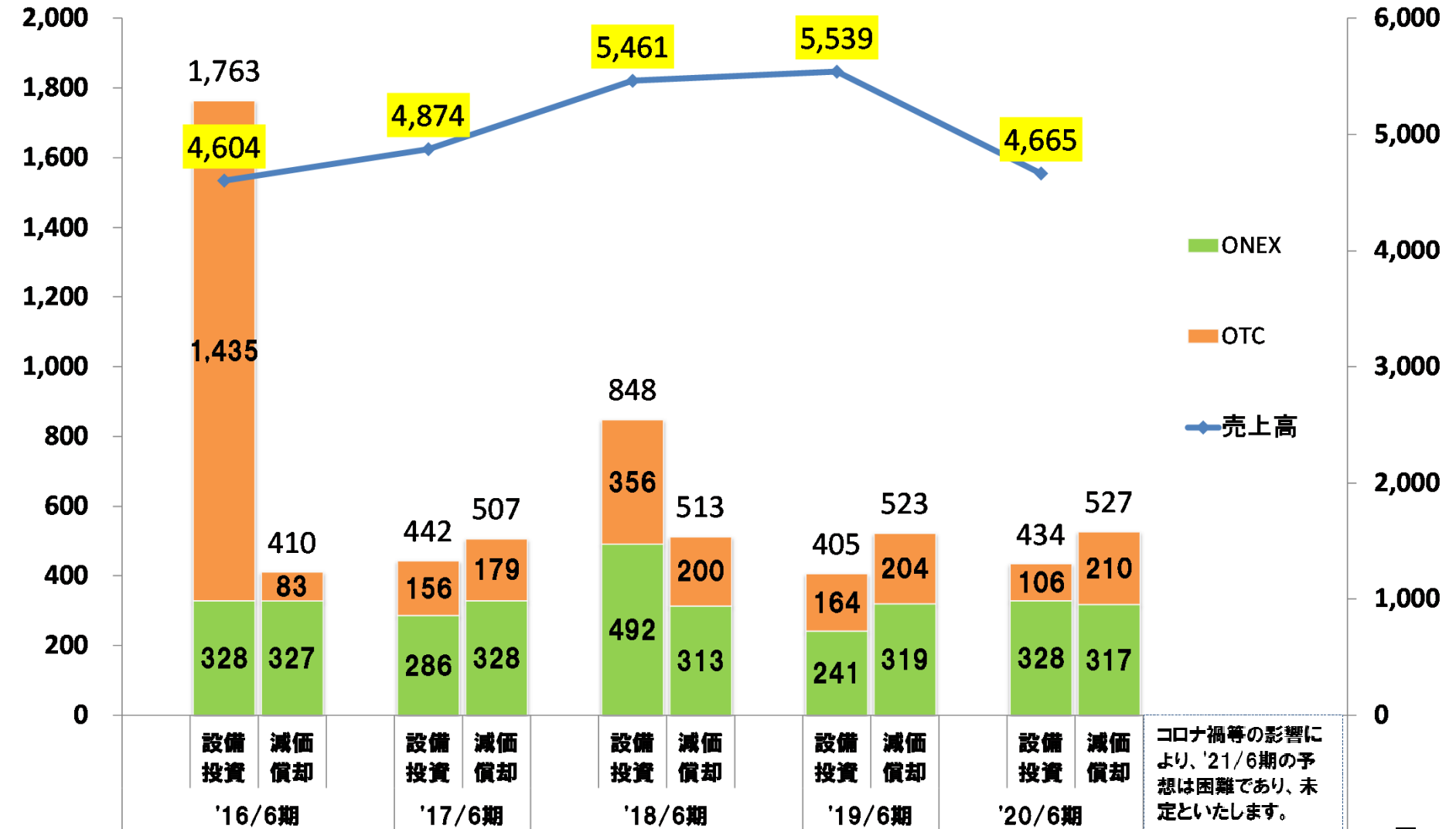
金属熱処理加工	: (株) オーネックス
	: (株) オーネックステックセンター
運 送	: (株) オーネックスライン

売上高・設備投資・減価償却推移

< '16/6期以降はオーネックスとオーネックステックセンター >

(単位:百万円)

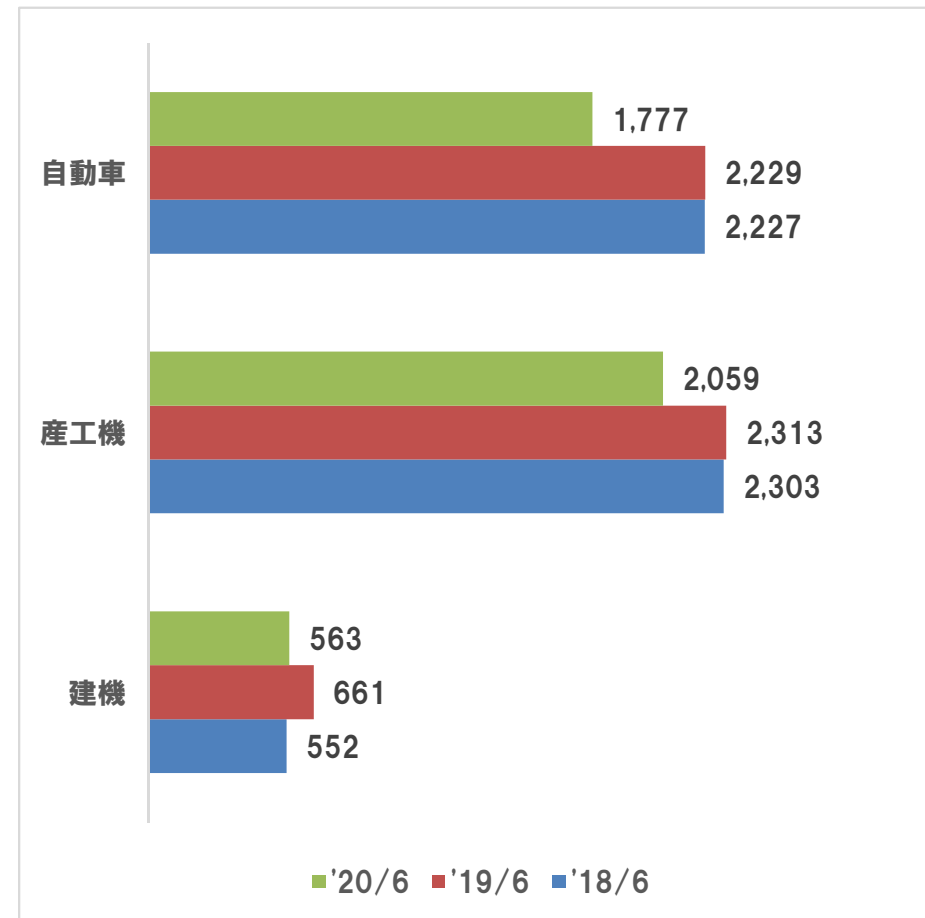
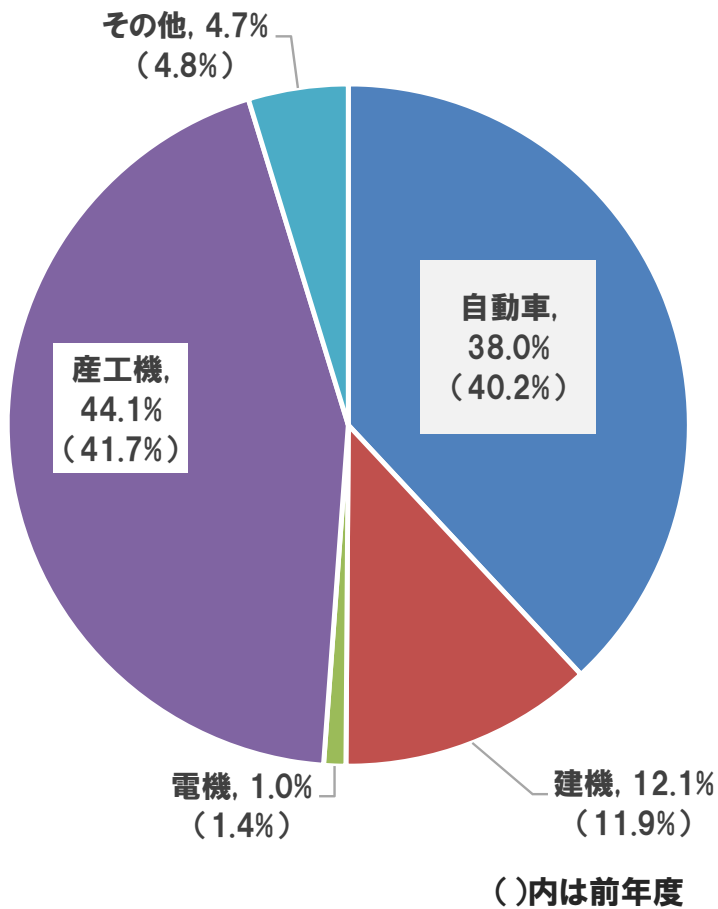
設備投資・減価償却



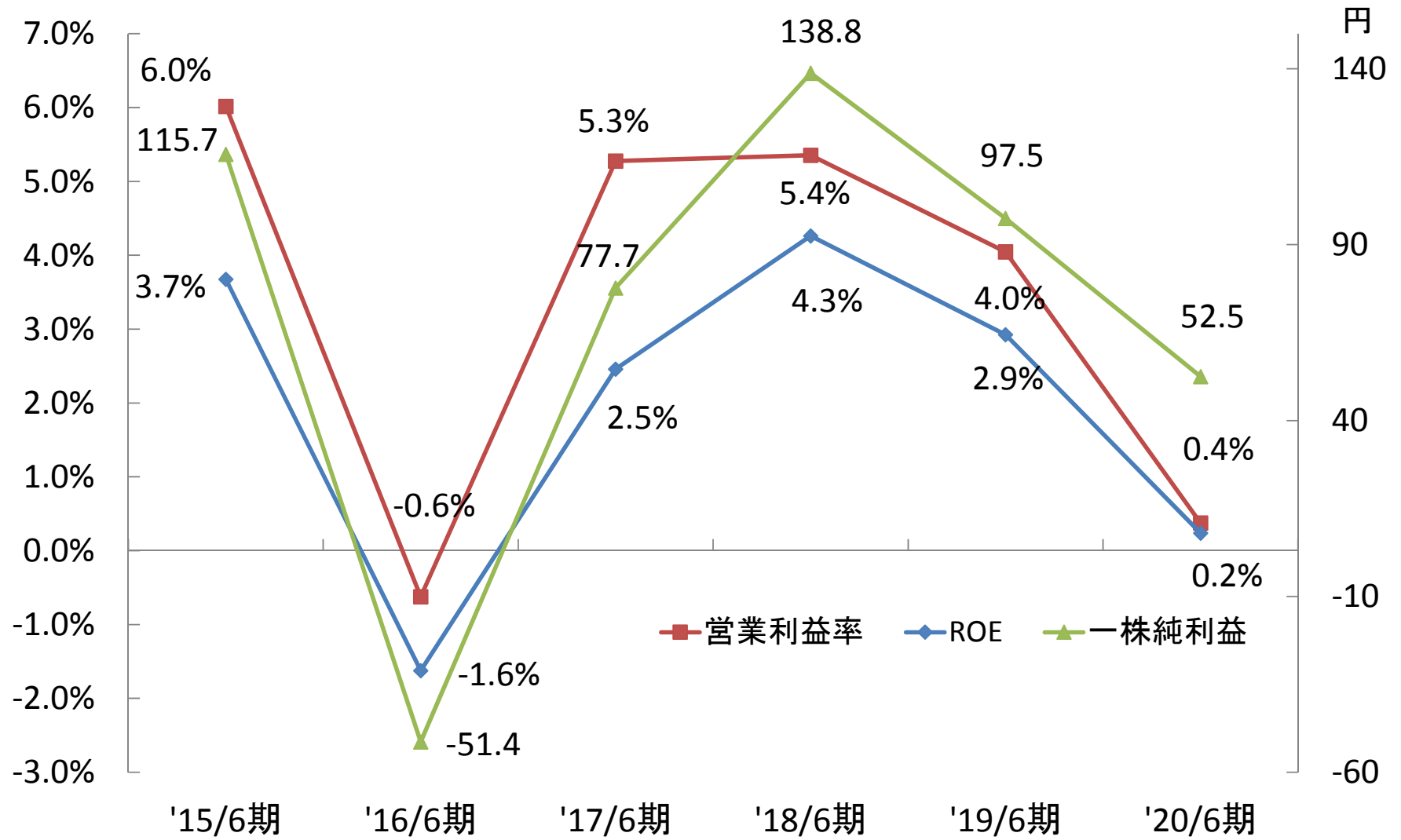
コロナ禍等の影響により、'21/6期の予想は困難であり、未定といたします。

2020年6月期業種別シェア(ONEX+OTC)及び売上高

(単位:百万円)



財務指標(連結)の推移



今後の展望

熱処理事業を取り巻く環境

- **米中通商問題の動向、中国経済の先行き、国内消費税増税などの影響で、景気の下振れ**
- **新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により国内消費活動の冷え込み、中国向けを始めとする輸出の減少**
- **国内金属熱処理業界では、メーカー内製熱処理の外製化の動き(新たなビジネスチャンス)**
- **同業熱処理業者の淘汰…人手不足・設備老朽化・事業承継**
- **海外製造拠点の国内回帰による熱処理需要の増加**

オーネックスグループの戦略

- 順調に売上を伸ばし、近畿・東海エリアをカバーする
オーネックステックセンターの拡充、及び顧客基盤の拡大
- 業務プロセス見直しによる生産性向上
- エネルギーコスト・労務費上昇を踏まえた原価低減
- 既存取引見直しによる取引採算の改善

あらゆる変化に柔軟に対応し、持続的成長・競争力を備えた
筋肉質の企業体質に変革

将来予測について

本資料の業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

**70周年(2020年)を機にさらにチャレンジを続ける
オーネックスを引続きよろしくお願ひ申し上げます。**

株式会社 オーネックス